

平成 27 年 5 月 24 日（日）開催 兵庫県山岳連盟同調例
自然観察山歩「マイナールート・五助尾根を辿る」

保久良支部/Y.O

雨の心配をしていたが、見事な快晴。集合地（阪急御影 深田池）にて、吉野普及委員長よりコースの説明、役員紹介後出発。

住宅街を抜け、白鶴美術館を過ぎ、五助堰堤まで、住吉川沿いを歩く、新緑が美しい。五助堰堤が昭和 42 年の土石流から町を守ったと説明を受けるが、阪神大水害（昭和 13 年）の最高水位を示す碑を見た後なので実感がわく。



高さ 30M、幅 78M、六甲山系の砂防ダムのうち最大である

五助堰堤を越えて列をなす参加者

「読図」は、高圧線も使い現在地を割り出す方法を教わる。御影石の碎石場だった場所柄、大きな岩が切り立っている。

ぬかるむ岩をザイルで登る箇所もあり、狭い尾根道を一列で歩く場面が多い。4等三角点、五助山（636.6m）山頂に到着。そこから少し先に場所を確保し昼食。



五助谷右岸の尾根への取付点へ向かう 67 名の参加者。

狭い尾根筋は長蛇の列！

昼食後、「植物観賞」。植物の防護本能でつくられる「虫こぶ」についてのレクチャー。

写真と採取されたばかりの実物により、解りやすく解説を受けた。季語にもあるが実物は初見。アクティブレジャーからは熱中症についての話があり、この時期にも多いことから、山中で熱中症を起さぬよう体調管理や水分補給など注意が必要と感じた。



吉野自然保護委員長による虫こぶのレクチャー



高橋アクティブレジャーの熱中症の話

急登もいくつかあり、前の人が見えないほどの高さの笹をかき分けて歩く場面もあったが、六甲縦走路に出て、ガーデンテラスまでは直ぐだ。「みよし観音」前で解散となった。

六甲の緑の中に可憐に咲く夏の花々に癒される一日であった。ペラペラヨメナ・ウツギ・ノイバラ・ニガナ・コアジサイ・ミヤマナルコユリ等。中でもヤブウツギ（兵庫県レッドデューダランクC）の紅色が印象的だった。



みよし観音前からは参加者の自由コース下山！

天 候 晴れ

担 当 例会自然保護委員会

兵庫県山岳連盟/自然保護委員会

参加者 67名（内当会 31名）